

公表:令和 6年 3月

事業所名 児童発達支援事業所 きりんくらぶ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・活動内容によっては 机を移動しスペースを 確保している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			・指導室が1フロアである為、家具の配置やマットを活用して目的別にスペースを確保している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			・使用後の物品や室内は、毎日掃除及び消毒を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	33%			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67%	33%		・昨年度の評価結果をもとに改善している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・ホームページで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%		・実地指導の結果を踏まえて、業務改善を図っている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・外部研修に、各自参加している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	66%	17%	17%		・こどもの行動観察をできるようにする必要がある。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・浜松市のアセスメントツールを活用している。	・浜松市の指導のもと、改善している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83%	17%			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			・支援計画などを全職員が確認できるようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%		・新しい職員が増え、内容について理解が図れるようにしている。	・チーム全体で話し合えるように工夫していきたい。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%		・利用する子どもに合わせた主活動内容にしている。	・子どものできる事、できない事を把握して活動プログラムを決められるようにしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	83%	17%			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・短時間だが、指導内容について毎日、指導カードに記入して行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	66%	17%	17%	・指導内容の目的に対して子どもの表れについて評価するように進めている。	・打ち合わせは設定していないが個々に情報共有を図っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・日々、子どもの表れを記録している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	66%	17%	17%	・計画案を立てた後、職員で会議を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			・利用者の担当保健師や関係機関と必要時に連携している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—			対象者なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—			対象者なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			・併行通園先の園と必要時関係連携を図っている。 ・保育所等訪問を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	—			対象者なし	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			・児童発達支援事業所連絡会に参加している。	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	66%	17%	17%	・併行通園の利用者が多く、園で交流が図れている。 ・療育現場での交流はない。	
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	33%	17%	50%		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・半年毎に面談を実施、また希望に応じて実施している。 ・送迎時に伝えている。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	17%	33%	・面談を通して助言している。	・家族支援プログラムの内容を十分に理解できていない為、自分の知識を増やしていく必要がある。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%		・契約時に説明している。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	83%	17%		・支援内容を説明し、同意を得ている。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%		17%	・半年毎に面談を実施、それ以外は希望に応じて実施している。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・コロナの感染対策の緩和に伴い、今年度は実施できた。	・来年度は保護者会の回数を増やす予定。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・自分で返答ができない場合は担当の職員に伝達し対応している。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	66%	34%			・来年度は年4回、きりんくらぶ通信を発行していく。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%				
	㉛	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
非常時等の対応	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	83%	17%		・外部講師を招いたイベントに招待している ・毎月子ども食堂を開催している。	
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			・各マニュアルを計画時に配布している。	
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・各災害を想定して避難訓練を行っている。	
	㉟	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%			・服用している薬や発作の状態など、受診後に聞いて把握している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	83%	17%		・保護者に食物アレルギーを聞き、できる範囲で対応。無理な場合は弁当持参をお願いしている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・ヒヤリハット発生時には報告書を作成し、対応など話し合っている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・外部研修に参加している。 ・定期的に勉強会を行っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	50%	50%		・現在対象者はいないが、契約時に説明している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。